



芦安中学校だより

第 8 号

校長 大石 浩雄

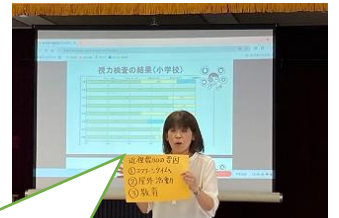
2024. 10. 3

☆令和 6 年度学校保健委員会と第 2 回学校運営協議会を実施しました

9月26日(木)の午後に令和6年度学校保健委員会と第2回学校運営協議会が行われました。はじめに学校保健委員会が行われました。ここでは、芦安小中学校の児童生徒の健康状態についての報告や校医や学校薬剤師の先生方から児童生徒の健康に関わる指導助言をいただきました。学校で行った健康診断の結果から、児童生徒の虫歯の割合が低いこと、それは丁寧な歯磨きの習慣があることが一因ではないか等報告されました。また指導助言の中では、南アルプス市では大人になってから糖分や塩分の取りすぎによる生活習慣病が多い傾向があること、その予防のためには子供のころから清涼飲料水の飲みすぎや味付けの濃いものばかりを食べることを避ける習慣を身につける必要があることなどが出されました。



学校保健委員会に続けて学校運営協議会が行われました。この会議はコミュニティスクールとして大切なものです。今年度これまでの学校や児童生徒の様子、1学期の学校評価の結果等の報告や学校としての成果や課題の報告や、今後の方向性などについての意見交換が行われました。持続可能な学校づくりのために芦安小中学校の魅力をどのようにして高めていけばよいのか、保護者や地域の方を含む学校運営協議会の委員のみなさんそれぞれの立場から意見をいただくことができました。また、この会議を通して改めて多くの方が芦安小中学校を大切に思っていること、支えてくれていることを実感しました。今回の内容をもとに今後の学校づくりを一層進めていきたいと思えます。



視力の低下の原因として、最近ではスマホ等を見ている時間の増加していることや子供の屋外活動の時間が減少していることも紹介されました。

☆学校林整備が行われました

9月30日(月)の午後に学校林整備が行われました。もともと9月27日(金)の予定でしたが雨天が予想され延期をしたためこの日となってしまいました。27日に参加協力を予定していただいていた保護者のみなさまには申し訳ありませんでした。



今回の学校林整備は、小学校グラウンド南側にあるPTA学校林「ふれあい豊かな森」の手入れと中学校で行う「輪かんじきづくり」の材料や11月に予定している児童生徒の焼き芋集会用に使う薪を集めることが主な目的でした。実際の作業では、講師の清水准一様、吉澤齊太様から間伐をしなければいけない理由や安全に間伐をするために注意することなどを教えていただきながら、間伐や間伐した木の枝落とし、丸太の運搬等に取り組みました。はじめこそ見ているだけで手が出なかった生徒がいましたが、しばらくすると汗や汚れも気にせず一生懸命作業をする生徒の姿があらこちらで見られるようになりました。「汚れるから」「大変だから」と敬遠することなく作業に真摯に取り組めたことは、将来社会の中で生きていく上で基礎となる大切な力であると思えます。今回のようなひとつひとつの体験や活動を通して少しずつでも生徒が成長していけるようにしていきたいと思えます。



☆白峰祭に向けて

運動会が終わりホッと一息と言いたいところですが、すでに生徒は次の大きな行事・白峰祭に向けて動いています。2学期は「主体的に活動する中で成長できるように」ということを大きなテーマとしています。そのため時間はかかるかもしれませんが、できるだけ多くの生徒が関わって自分たちの活動を創りあげようと生徒会役員を中心に話を進めています。9月末現在、生徒たちは中学生として白峰祭で合唱と創作演劇を披露しようと全員で確認し、合唱曲目と劇の台本が決まったというところです。どんな白峰祭になるのかを楽しみにしています。



芦安中学校だより

第 9 号

校長 大石 浩雄

2024. 10. 9

☆輪かんじきづくりに挑戦

10月4日(金)から総合的な学習の時間として3年生の輪かんじき製作が始まりました。9月の学校林整備で枝打ちや間伐材から落とした枝を利用して製作していきます。これまでもお世話になっている芦安ファンクラブの清水准一様、西村正人様、伊井和美様を講師に招き、指導を受けながら11月末まで全6時間をかけて取り組みます。今回は1回目として材料の処理や枠となる部分の曲げ加工などに取り組みました。地域の方と和やかに話をしながら長時間煮ることで柔らかくなった木の皮をむいたり、枝をかんじきの形に曲げたりする生徒の姿はとても生き生きとしていました。

輪かんじきは、昔芦安地域でも製作・出荷されていたものだそうです。時代が変わり、今はほとんど使われなくなったものですが、木材を無駄なく利用する知恵や工夫を学び自然との共存を考えるために良い教材だなどと思いました。これまでの約半年間、校長として芦安中学校で行われている自然体験活動・学習を見たり体験したりしてきました。手前味噌かもしれませんが、どれも本格的で本質に迫るものだと思います。本格的故に準備を含め手間も時間もかかりますが、芦安中学校の特色としてこうした本物の体験をした生徒が将来人間的精神的に豊かな人生を送ってくれるといいなと思います。



☆体育の授業で剣道を学んでいます

運動会が終わり体育の授業が新しい内容・武道に変わりました。武道には柔道や剣道などがありますが、芦安中学校では剣道を選択しています。授業では体育の竹鶴先生以外にもう一人、教頭先生が特別講師として指導にあたっています。武道という私のイメージの中では、礼儀・厳格・忍耐といったものが浮かんでしまうのですが、なぜそのような所作をするのかといった理由を丁寧に伝えながら、場面によっては音楽にのせて練習をする、ボールを使って練習をするといったこともありました。剣道の経験がない生徒たちが、どうしたら基本動作や技術、武道の伝統、相手を尊重する態度などを学んでくれるか考え、工夫してくれている様子が伝わってきました。



☆YELL(エール)

先日、全校生徒が話し合い白峰祭で歌う曲が決定、朝の時間を使って練習がスタートしました。生徒たちが選んだ曲は、いきものがかりというグループのYELLという曲です。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、この曲は平成21年度NHK全国学校音楽コンクール中学校の部の課題曲として制作されたもので、作詞・作曲をしたいきものがかりのリーダー水野良樹氏が、15歳の頃の深く思い悩んでいた自分を思い返し、その体験をもとに書いたと言われているものです。(個人的にはいい曲だと思っています)おそらく生徒たちはこうしたエピソードを知らず、聴いた感じで惹かれるものがあり選んだのだと思います。ただ、せっかくみんなで歌おうと決めたのだから、生徒達にはこれからの練習で、ただ歌う、ただ歌詞や音程を覚えるのではなく、作者である水野氏が中学生に何を伝えようとして作った曲なのか、この曲を通して自分たちは聴いてくれる人に何を伝えようと思うのか、そうしたところまで考えて取り組んでもらえるようにしてほしいなと思います。

話は変わりますが、保護者の中にもYELLという曲に思い入れや思い出がある方がいるかもしれません。その場合はぜひそうした気持ちをお子様に話していただき、親子や家族でひとつの曲を共有していただけたらと思います。また、YELLという曲をご存じでない方は右のQRコードからYoutubeでMV(ミュージックビデオ)がご覧いただけます。聴いた感想やMVをみて感じたことなどをお子様に語っていただけるとありがたいです。こうした機会をつくっていただくと子どもにとっても励みになるのではないかと思います。ご協力をお願いします。

